

(社) 日本建築学会
環境振動対策事例検討 SWG 第8回議事録 (案)

A. 日 時：2010年10月5日(火) 15:00～17:00

B. 場 所：建築会館会議室

C. 出席者：川本主査 他14名

D. 配布資料

番号	内容
8-0	第7回SWG議事録
8-1	振動事例一覧
8-2	振動事例修正案・追加事例
8-3	合意形成説明事例
8-4	対策事例集の刊行物内容(案) 環境振動対策事例提供に関する取扱(各委員に配布)

E. 議事内容：

(1) 第7回SWG議事録(案)の確認(資料8-0)

(2) 新委員の紹介

(3) シンポジウム開催報告

【報告内容】

- ・振動問題のうち低周波問題を扱うために2006年4月よりWGを立上げ検討を開始。
- ・どのような資料があれば事象が発生した場合建築側で対応できるかという観点で、資料収集、情報整理を行った。→刊行物発刊
- ・設計対応方法として、室外機の位置、洗濯機(斜めドラム式)、ヒートポンプ電気温水器等について検討。事例は18事例掲載。
- ・最後に規準・指針等を記載。

(4) 合意形成説明事例(資料8-3-1～8-3-5)

【報告内容】

- ・高速道路橋脚近くでの3階部分の揺れ(2事例)(資料8-3-1～8-3-2)
- ・新幹線から約1km離れた地点に建つ2階建住宅の揺れ(資料8-3-3)
- ・鉄道或いは幹線道路近くに建つ、2階建住宅2階部での就寝時の揺れ(資料8-3-4)
- ・階段昇降時の建物の揺れ(資料8-3-5)

【意見交換内容】

- ・高速道路が原因と考えられる場合は、高速道路からの振動分布を測定し、原因をはっきりさせるよう対応している。
- ・杭が振動を伝えることもあるし、軟弱地盤ゆえに振動が伝わりやすくなる場合がある。
- ・地盤改良は高周波には効くが、低周波には必ずしも効かない。
- ・3階が揺れる場合、TMDでの対応が効果があり、3階建はTMDを標準としている。
- ・TMDは2階建でも効果はあり、イニシャルコストで50万円程度。
- ・3階建はSSを行うときに、振動源に近いところで振動調査を行う。
その範囲は、通常100m・300m+特殊要素がある場合。
首都高は500mくらいまでは危険。
1km離れた場合はレアケース。
- ・説明性の時代になってきているので、敷地条件によって対策・説明をとるべきである。

(5) 対策事例集の刊行物内容（案）について（資料 8-4-1～8-4-4）

【報告内容】

- ・委員より、本 SWG の成果物として、対策事例をまとめて刊行物としてはどうかとの提案があった。（資料 8-4-4）
- ・資料 8-4-1 は全体概要をまとめた案。
- ・資料 8-4-2・8-4-2 は、どのような対策を取ったらよいか選択するためのフロー案で、クレーム発生後か、これから計画するかで進め方の性質が異なるため、“振動に関するクレームが発生した場合”と“計画段階での検討の場合”の 2 種類で作成。

【意見交換内容】

- ・刊行物となると最低部数等の問題があるため、シンポジウムの実施・シンポジウム資料としての HP アップ等の案も考えられる。
- ・地盤改良による対策については、空溝、連壁等他の対策を増やすべき。
- ・WIB 工法は商品名であるため、一般的な表現に変更すること。
- ・フローの判断基準には、振動源側（道路、工事等々）へのアプローチを入れる。
- ・測定結果に、建物の固有振動数、地盤の卓越振動数を入れる。
- ・鉛直方向/水平方向どちらへの対策なのかを明確にする。
- ・“計画段階での検討”を先にする。

(6) 提供事例の取扱について

【報告内容】

- ・各委員へ会社名で“環境振動対策事例提供に関する取扱”を配布。（環境振動対策事例検討 SWG 事務局発行）

(7) 今後の進め方

①振動問題の事例のまとめ

- ・振動事例の追加提出（各委員）

②合意形成・説明性事例のまとめ

- ・各委員より合意形成に関する事例（振動事例で説明に使用した事例等も含む）を提出（各委員）

③対策事例集の成果物内容のまとめ

- ・内容の検討
- ・対策フローの検討
- ・成果物の発刊方法の検討

(8) 次回開催について

- ・日時：2011 年 1 月 14 日（金） 15：00～17：00
- ・場所：建築会館会議室

以 上